

# 2025年度 日本の持続可能な酪農研究会

## ～国内外の“サステナ”を知り現場での実践につなげるために～

### プログラム

2026年3月2日（月）10:30 - 19:00  
(於：アルカディア市ヶ谷)

#### 開会挨拶

◇ 講演会 (10:35 - 14:25) (敬称略)

#### 第一部

講 演 ① 演題 搾乳の自動化と酪農の未来  
演者 森田 茂 (酪農学園大学 教授)

講 演 ② 演題 家畜福祉（仮）  
演者 近藤 誠司 (北海道大学 名誉教授)

講 演 ③ 演題 飼料自給構造の国際比較－IFCN データが示す持続可能性の視点（仮）  
演者 日向 貴久 (酪農学園大学 教授)

講 演 ④ 演題 “サステナ”で変わる世界の酪農乳業～GDP の取り組みと日本へのメッセージ（仮）  
演者 木ノ内 俊 (J ミルク)

(昼食：12:20-13:05)

#### 第二部

出席報告 演題 IDF 酪農家円卓会議  
演者 栗原 丈治 (J ミルク)

事例報告① 演題 酪農を持続可能に～Meiji Dairy Advisory (メイジ・デイリー・アドバイザリー) による経営支援～（仮）  
演者 木村 康行 ((株)明治)

事例報告② 演題 酪農現場から進める GHG 削減への道—GHG 算定シートを活用した排出源の見える化—（仮）  
演者 内藤 健憲 (森永乳業 (株))

事例報告③ 演題 リジェネラティブな酪農とは～北海道の事例から～（仮）  
演者 越智 成東 (雪印メグミルク (株))

事例報告④ 演題 良質な牛乳と高い生産力を生み出す酪農経営に向けて（仮）  
演者 丸山 純 (酪農家 (朝霧メイプルファーム))

事例報告⑤ 演題 J ミルクにおけるアニマルウェルフェアへの取り組み  
演者 関 芳和 (J ミルク)

✧ 討論会 (14:45 - 16:45)

テーマ：「日本の持続可能な酪農をどう進めるか」（仮）

モデレーター：生源寺 真一（東京大学・福島大学 名誉教授）

清水池 義治（北海道大学 准教授）

パネリスト：上記の講演者及び報告者

第一部 「海外」の取り組みから“サステナ”を知り酪農現場での実践につなげる

第二部 「国内」の取り組みから“サステナ”を知り酪農現場での実践につなげる

閉会挨拶

✧ 交流会 (17:30 - 19:00)